

海外赴任者
出張者向け

異業種交流型・1日公開講座 開催レポート

グローバル マネジメン ト研修 (リモート編)

～海外赴任者に共通して求められる能力とは？～



グローバル × マネジメント × リモート

- ・日本からは駐在予定者が参加。
- ・海外からは現在赴任中の駐在員がシンガポール、マレーシア、インド、インドネシア、香港、カンボジアから参加。
- ・コロナ禍で状況が変わる中、各地の最新事例を参加者同士がリアルタイムで討議・共有。



開催概要

【講師】 グローバル人材戦略研究所 代表 小平達也

【対象者】 海外赴任予定者、海外出張者など海外スタッフの
マネジメントに関係する方々 (リモートマネジメント含む)

【日時】 隔月開催。2022年 2月17日・4月21日・
6月23日・8月25日・10月27日・12月15日

【実施形態】 オンライン (Zoom)

■当研修の目的

- ・国内外においてマネージャーに求められる能力を理解する。
- ・外国人社員をマネジメントする際に求められるコミュニケーションとリモートワークにおけるテクニックを学習し身につける。
- ・方針をマネジメント持論としてまとめ、マネジメント能力遂行のための軸を確立する。

■実施内容 (プログラム)

- ・オリエンテーション
- ・上司に求められるマネジメント・テクニック①「違い」を理解する
- ・上司に求められるマネジメント・テクニック②「違い」への対応
- ・上司に求められるマネジメント・テクニック③「違い」を価値創造 (競争力) に変える

「リモート」においても 「インタラクティブ」な進行を実現

一般的に、受動的な参加になりがちなりモート研修ですが、グローバル人材戦略研究所がインタラクティブな進行を実現するために行っている進行上の工夫点をご紹介します。

① グループチャット

Zoom「チャット機能」を使用し、講師からの問いかけに対し参加者が直接回答できるようにしています。例：「理想の上司とは？」 「フィードバックをするときに意識している事」

② ブレークアウトセッション

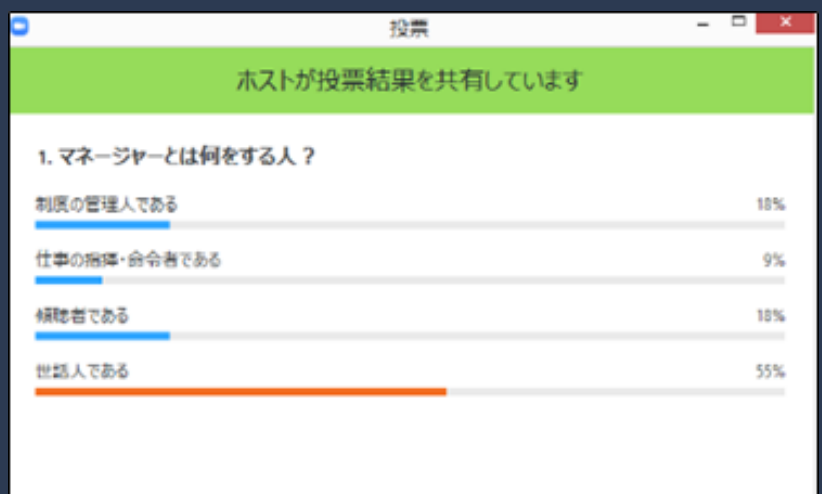
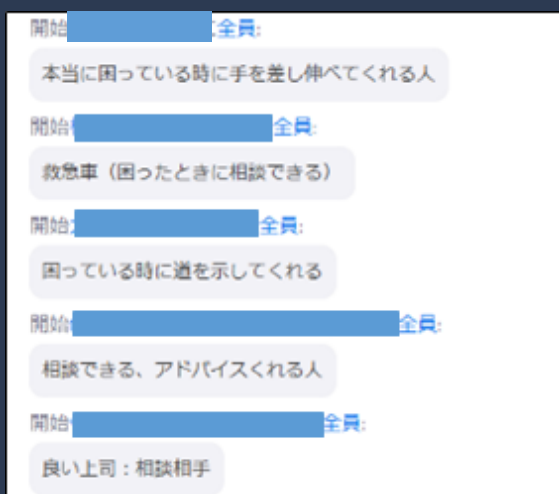
参加者を少人数に分け、グループワークを行います。少人数グループのため全員が発言しやすく、他の参加者との積極的な交流をはかれます。例：「周りの人から意見を引き出すには？」

③ 投票

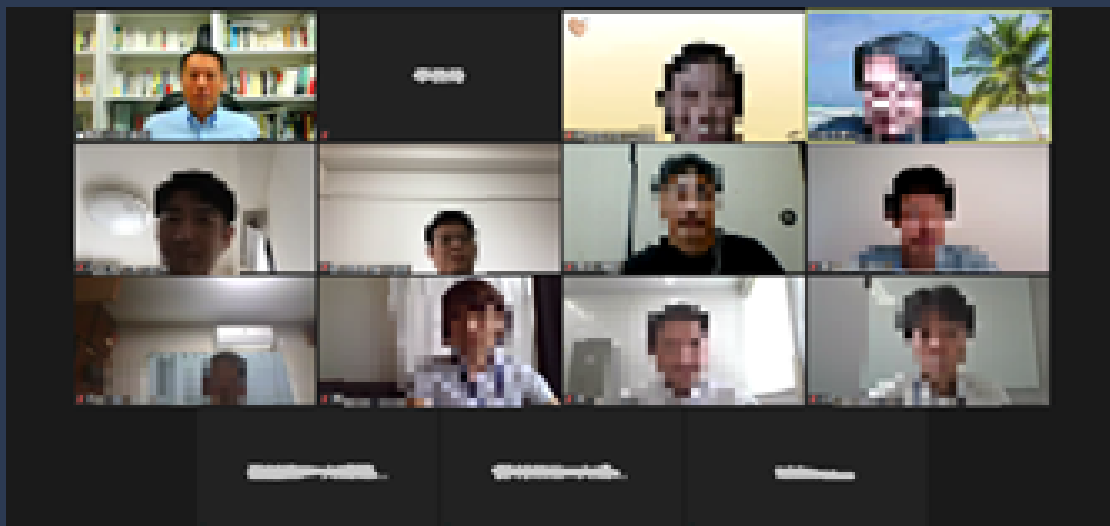
研修の進行にあわせて、投票テーマを予め準備。投票を実施した上でディスカッションをしていきます。例：「マネージャーとは何をする人？」 「4つの適応を踏まえ、一番きつかったのは？」

当日の様子 実施した「チャット」・「投票」の例

興味深い回答をした参加者にはエピソードを紹介してもらうなどして、対面さながらのライブ感がある研修となりました。

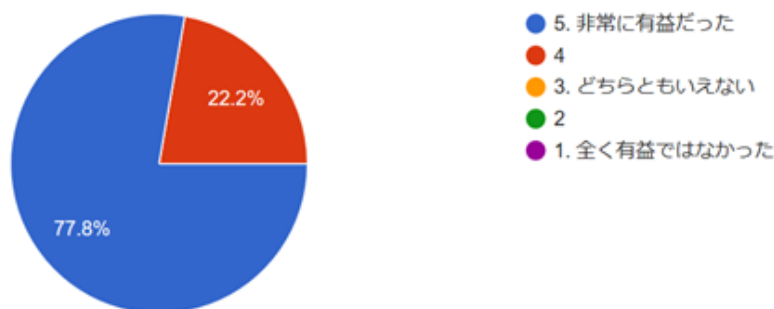


日本のみならず、インドネシア、カンボジア、シンガポールなど各国から参加。6時間の研修中8回、計2時間のディスカッション。多様な業種の参加者同士で意見を交換できる、能動的な学び合いの場となっています。



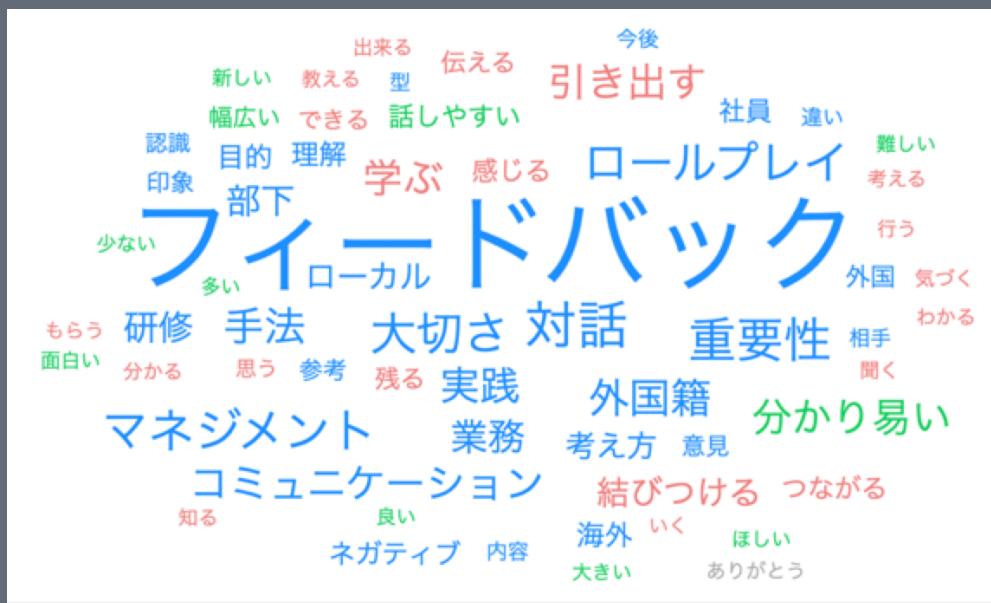
■感想(※一部抜粋)

講座全体についての感想をおきかせください(番号を一つ選んでください)。



- ・「赴任直前のマインドセットとして有益な機会であったと思います」
- ・「これから赴任する方々の不安や心配事を聞き、準備のあり方について気づきがあった」
- ・「普段の実践で見えず、不安や悩みになりやすい課題とその解決策に繋がるいろいろな話を具体的に聞けました。」
- ・「他社様の取り組みや問題点まで知ることができたことが非常に良かった。」

■講座内容について最も参考になったこと・印象に残ったこと



- ・「海外赴任経験豊かな方のノウハウや心構えを学びました」
- ・「Team Workで学んだ事を直ぐ共有できることが良かった」
- ・「海外でのコミュニケーション方法と参加者の方の実体験」
- ・「プレーヤー・マネジャー・ローカル・グローバルの難しさを理解するべく、とても参考になりました」
- ・「ローカル社員と期待値・目標を予め十分に共有しないと諸々問題が出てくること」
- ・「相手の国で仕事をさせてもらう、という気持ちでいることの大切さ」

あなたの対応力は？

リモートワーク・自己チェック10のポイント

自社制度への理解

リモートワーク以外にもフレックスタイム、各種手当等への理解をしているか

情報システムへの理解

システムの機能、セキュリティ等への理解をしているか

コミュニケーション

上司、同僚、部下とのコミュニケーションの質・量は適切か

業務プロセス

アウトプットの質・量、生産性は適切か

自律性

業務プロセスを進めるにあたり、自らPDCAを回しているか

支援要請

上司による支援を必要に応じ自ら要請できているか（長時間考え込みすぎてしまう、沈黙・声を掛けられるのを待つ姿勢となっていないか）

顧客対応

顧客満足度は高まっているか（いる／いない場合、具体的にどの部分か）

働き方

自らの働き方に対する満足度は高まっているか（いる／いない場合、具体的にどの部分か）

生活

自らの生活（自己研さん、趣味、家族との時間等）に対する満足度は高まっているか（いる／いない場合、具体的にどの部分か）

挑戦

リモートワークを機会とし、新たな取り組みを検討・実施しているか

参加企業実績

(順不同) ※集合型を含みます

<金融・保険>

SMBCコンシューマーファイナンス株式会社
第一生命保険株式会社
三菱UFJ国際投信株式会社
GMOクリックホールディングス株式会社

<自動車・機械>

日産自動車株式会社
株式会社デンソー
マツダ株式会社
スズキ株式会社
株式会社ユニバンス
三菱日立パワーシステムズ株式会社
住友重機械工業株式会社
セイコーエプソン株式会社
メタウォーター株式会社
日本モレックス合同会社
株式会社クボタ

<電機・精密機器>

パナソニック株式会社
株式会社リコー
富士通株式会社
株式会社FUJITSUユニバーシティ
富士ゼロックス株式会社
アルプス電気株式会社
株式会社トプコン
日本信号株式会社
株式会社大真空
日本ガイシ株式会社
ミネベアミツミ株式会社
サンデンホールディングス株式会社
住友電装株式会社
リョービ株式会社
日置電機株式会社

<総合商社>

丸紅株式会社
双日株式会社
<流通・外食>
興和株式会社
キヤノンマーケティングジャパン株式会社
株式会社ニトリホールディングス
株式会社 俄

<建設・不動産>

大成建設株式会社
西松建設株式会社
日揮株式会社
富士古河E&C株式会社
株式会社ウッドワン
テイ・エステック株式会社
六興電気株式会社

<食品>

日清食品ホールディングス株式会社
株式会社 明治
サントリーホールディングス株式会社

サントリー食品インターナショナル株式会社
サントリースピリッツ株式会社
ハウス食品グループ本社株式会社

<生活用品>

花王(中国)投資有限公司
日本コルマー株式会社
シミックホールディングス株式会社
フォーデイズ株式会社
株式会社ムロコーポレーション
ショーワグローブ株式会社
小林製薬株式会社
中外製薬株式会社
協和発酵キリン株式会社
トッパン・フォームズ株式会社
王子インターパック株式会社
株式会社キッツ

<金属・資源>

JX金属株式会社
JFEスチール株式会社
日立金属株式会社
YKK株式会社

<化学>

住友化学株式会社
日本カーバイド工業株式会社
日本ペイントホールディングス株式会社
綜研化学株式会社
東レ株式会社

<情報・通信インターネット>

KDDI株式会社
日本電信電話株式会社
NECソリューションイノベータ株式会社
株式会社バンダイナムコスタジオ
新日鉄住金ソリューションズ株式会社
東芝クライアントソリューション株式会社
東芝テック株式会社
株式会社野村総合研究所
ソフトバンク株式会社
サイバネットシステム株式会社
株式会社プロシップ

<運輸・物流>

日本通運株式会社
ヤマト運輸株式会社
新日鉄住金株式会社
株式会社日立物流

<その他サービス>

凸版印刷株式会社
アビームコンサルティング株式会社
MHIアカウンティングサービス株式会社
株式会社乃村工芸社
株式会社グリーン・フードマネジメントシステムズ
藤田観光株式会社株式会社
ジェイエイアイコーポレーション